排泄ケアは個人の尊厳に重大に関わる事柄です。

排泄はできる限り、今までと近い形で行えるように、住環境整備・福祉用具活用を検討しましょう。
毎日のことなので、問題がおこったら早急に対応する必要があります。

【問題がおこった場合】① → ② → ③ の順に、対応を考えます。

①家のトイレで安全に排泄できる方法を考える。

手すりの設置や洋式便器への交換などの工夫をして、家のトイレを安全に使えるようにすることが最も好ましいです。

▶

②ポータブルトイレを利用して、居室で座って排泄する。

排泄がしやすい姿勢＝「座った状態」です。ポータブルトイレを使用して座った状態で排泄することが好ましいです。

▶

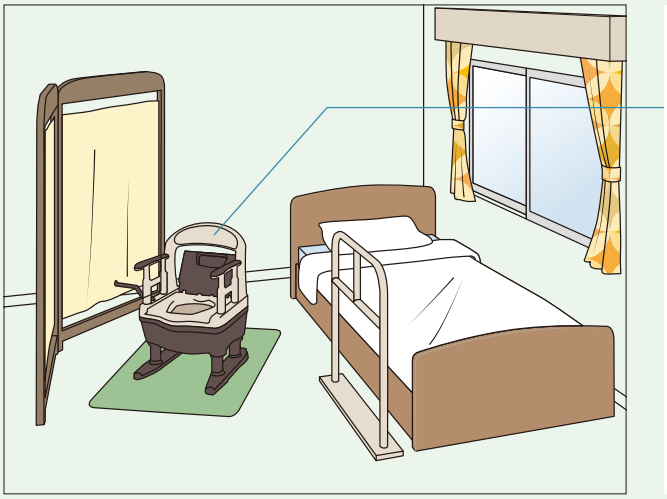
③ベッドの上でも快適に排泄する方法を考える。

歩行が困難で、ポータブルトイレを利用できない場合は、尿器、差し込み便器などを利用し、ベッドの上で排泄します。

トイレまでの移動が困難な人

歩行が困難な場合はポータブルトイレの活用も有効です。

排泄のしやすさには、姿勢が大きく影響します。「座って前傾姿勢」が一番望ましい姿勢と言えるでしょう。
歩行が困難でトイレまで行けなくても、ポータブルトイレを利用すれば座った状態で排泄することができます。



ポータブルトイレには、「樹脂製」、「家具調」、
「肘かけ固定タイプ」、「はねあげタイプ」などがあり、
お部屋や介護者の状態に合わせて選ぶことができます。

樹脂製



家具調



ポータブルトイレ導入の効果

直接的効果

- ●移動距離が短縮により、転倒によるケガ・骨折の予防
- ●移動時の介助負担の軽減
- ●失禁の防止による後処理の介護負担の軽減
- ●寒い時期のヒートショック防止

間接的効果

- ●自力での排泄が可能になり、介助に対する気兼ねが軽減
- ●夜間の介助負担軽減
- ●近くにある安心感から、水分をこまめに摂取できる

ベッドからの移動も困難な場合

尿意・便意のコントロールができる場合は、
尿器、差し込み便器などを使用することで、移動せずに排泄が可能です。

